



NI NOUKI NAVI+

運搬車

WN7B

運搬車 WN7B

取扱説明書



警告

取扱説明書を読み、内容を理解するまで、機械の運転、保守点検を行わないでください。
機械の運転、保守点検を適切に行うため、本取扱説明書は大切に保管してください。

説明書について

この度は弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機を安全にお使いいただくため、この説明書には操作、メンテナンス、点検の方法が記載されています。
正しい操作方法を習得するには、本説明書をよくお読みください。



警告

本機を操作、メンテナンス、点検する前に必ず説明書を読み、内容を理解してください。
機械の運転、保守点検を適切に行うため、本取扱説明書は大切に保管してください。

本機について



警告

本機には潜在的な危険が存在するため、必ず説明書に従って操作、メンテナンス、点検を行ってください。

本機は現場での資材運搬専用です。他の目的での使用は禁止します。
公道、国道での走行は禁止です。このような道路で事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。
事故防止のため、機械の改造は禁止です。また、防護カバーを取り外さないでください。

本取扱説明書における警告表示について

本取扱説明書では、危険度(事故の重大度)に応じて警告を以下のように区分しています。以下の警告項目をよく理解した上で、本機を操作してください。

項目	意味
危険	非常に危険な警告。注意を怠ると、死亡事故につながる恐れがあります。
警告	潜在的に危険な警告。注意を怠ると、死亡事故につながる恐れがあります。
注意	潜在的に危険な警告。 注意を怠ると、事故やケガ、機械の損傷につながる恐れがあります。
提案	注意を促す事項、またはアドバイス

本機の使用目的について

本機は短距離での運搬専用です。他の目的での使用や改造は固く禁止します。これらの使用方法に従わない場合、一切の保証は適用されません。

付属工具

No	名 称	数量	備考
1	本体取扱説明書	1	
2	エンジン取扱説明書	1	
3	スパークプラグ専用レンチ	1	
4	両用ドライバー	1	
5	スパナ 8-10	1	
6	スパナ 12-14	1	
7	スパナ 13-15	1	
8	じょうご	1	
9	じょうごガス管	1	

目次

1. 安全事項	5
1.1 運転前の注意事項	5
1.2 運転時の注意事項	6
1.3 積載時の注意事項	7
1.4 駐車時の注意事項	8
1.5 点検時の注意事項	8
2. 銘板情報について	10
3. 各部の名称と機能	11
4. 運転と操作	12
4.1 運転前の準備	12
4.2 始動方法(説明書参照)	13
4.3 運転方法	14
4.4 変速方法	15
4.5 駐車方法	15
5. 保守と修理	16
5.1 点検リスト	17
5.2 走行装置	18
5.3 クローラーの点検と調整	19
5.4 Vベルトの点検と調整	20
5.5 ブレーキ装置の点検と調整	21
5.6 旋回クラッチの調整	22
6. トラブルシューティング	23
6.1 走行装置	23
6.2 ブレーキ装置の不具合	23
6.3 クローラーの脱落	23
6.4 旋回装置の不具合	23
7. 技術データ	24

1. 安全事項

安全運転、安全操作

一般的な安全上の注意事項は、この運転・操作記録に従わなければなりません。

運転操作は安全事項の規定に従って行い、常に安全運転、安全操作を心がけてください。

1.1 運転前の注意事項



適切な作業着を着用し、安全保護具を装着する。
作業時は、タンクトップ、半ズボン、サンダルなどの軽装は避けてください。



運転前の点検

始動前に慎重に点検を行い、不具合がある場合は直ちに対処してください。



火気厳禁

燃料に火気を近づけないでください。
また、給油は必ずエンジンを停止してから行ってください。



乗車禁止

乗車は禁止です。また運転中の乗車も禁止です。



飲酒運転禁止

飲酒時や体調不良時の運転は禁止です。また、運転・操作に適さない方の運転も禁止です。

1.2 運転時の注意事項



換気の悪い場所での運転禁止

エンジンの始動・運転は、換気の良い場所で行い、排気ガスによる中毒の防止に努めてください。



斜面での注意事項、下り坂での減速

下り坂では副変速レバーを低速位置にし、減速して事故を防止してください。

安全速度の遵守

周囲の安全を確認しながら運転し、路面状況に注意して安全な速度で運転してください。

急発進、急加速、急旋回、急停止の禁止

急発進、急加速、急旋回、急停止は運転者の負傷や機械の滑り、転倒の原因となりますので禁止です。

斜面での横断や旋回の禁止

斜面での横断は滑りや転倒の原因となるため禁止です。また、斜面での旋回は後退、滑り、転倒の原因となるため禁止です。

危険時は合図に従う

視界不良、狭路、斜面、起伏のある道路では、合図に従い、安全確認後に再発進してください。

1.3 積載時の注意事項

過積載禁止

本機の最大積載容量を超える荷物の積載は禁止です。

荷物の正しい積載方法

不均等な積載による機械の転倒を防ぐため、荷物は均等に配置し、ロープで固定してください。また、視界確保のため高さにも注意してください。

重量制限に関する注意

木橋を渡る際は、機械、荷物、作業者の総重量が橋の最大耐荷重を下回っていることを確認してください。また、制限速度内で渡ってください。

斜面での積載容量に関する注意

15-20 度の斜面では、積載容量を 150kg 以内に制限してください。20-25 度では無負荷で運転してください。25 度以上の斜面での運転は禁止です。過積載時や斜面でのギア変更は禁止です。

斜面でのバケット操作禁止

斜面でのバケット操作は機械の転倒につながるため禁止です。必要な場合は、水平な場所で作業を行ってください。

1.4 駐車時の注意事項

危険区域での駐車禁止

安定した路面に駐車し、危険区域での駐車は禁止です。

斜面駐車時の車輪固定

斜面での駐車は禁止です。やむを得ない場合は車輪を固定してください。

1.5 点検時の注意事項

点検・整備時のエンジン停止

点検時はエンジンを停止してください。

火傷に注意

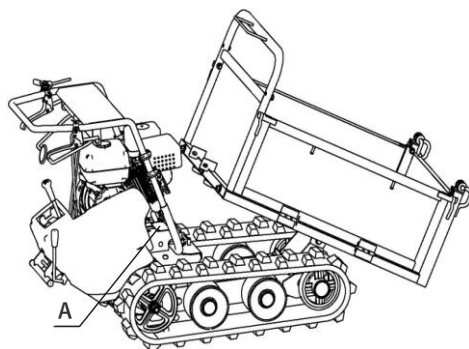
エンジン停止直後は各部品や潤滑油が高温になっており、火傷の危険があります。機械が冷えてから保守作業を行ってください。

火気厳禁

保守作業中は火気厳禁です。

2. 製造番号・型式情報について

プレートに記載の製造番号、エンジンのブランドとモデル番号をご確認ください。エンジン名とモデル番号については、説明書をご参照ください。



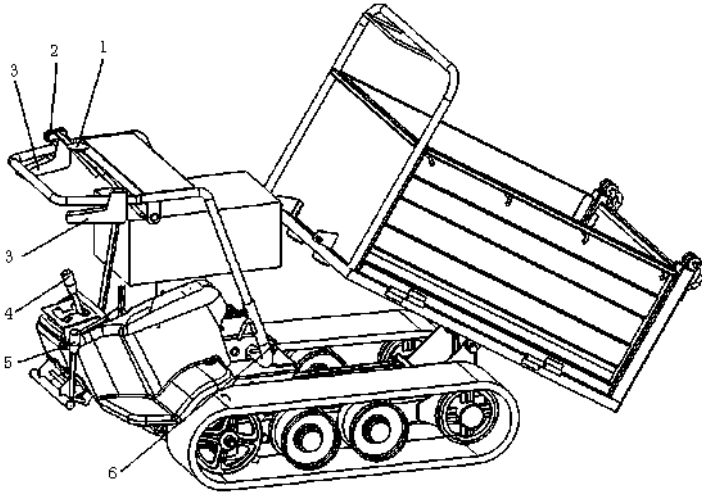
製品プレート



補修部品の供給期間について

本機の補修部品は、製造中止後 7 年間供給いたします。

3. 各部の名称と機能



1. 走行クラッチレバー 機械の運転・停止を制御
2. アクセルレバー エンジンの回転速度を制御
3. 旋回クラッチレバー 機械の旋回を制御
4. ギアレバー 前進・後退時の速度を制御
5. 副変速レバー 走行時の速度を制御
6. バケット固定棒 バケットを固定し、ダンプ時にロッドを外して
バケットを持ち上げます。作業中のバケットの落下を防止します。

4. 運転と操作

4.1 運転前の準備

4.1.1 作業前の点検

運転前に機械を点検してください。点検項目については点検リストをご参照ください。

4.1.2 燃料の点検と給油



- 給油は火気から離れて行ってください
- 給油はエンジンを停止して行ってください
- 給油時は規定量を超えないよう注意し、燃料漏れに注意してください。こぼれた場合は清掃してください。

1. タンクキャップを開け、油量を確認し、不足している場合は給油してください
2. キャップを開けて給油します
3. キャップを元に戻します

推奨事項

使用燃料：自動車用無鉛ガソリン

燃料容量：3.6L

4.2 始動方法(説明書参照)



- 換気の良い場所でエンジンを始動し、中毒を防止してください。
- 周囲の安全を確認してからエンジンを始動してください。
- 事故防止のため、エンジン始動前にクラッチが停止位置にあることを確認してください。

注意

冬季や乾燥・寒冷環境では、運転前に必ず暖機運転を行ってください。行わない場合、機械の寿命が短くなります。

1. クラッチが停止位置にあることを確認
 2. ギアシフトがニュートラル位置にあることを確認
 3. 燃料コックをON位置に回す
 4. チョークバルブをOFF位置に回す
- 注意: エンジンが温まっているときは不要です
5. アクセルレバーを少し高速側に回す
 6. メインスイッチをON位置に回す
 7. スターターロープを引いてエンジンを始動
 8. エンジン始動後、アクセルレバーを低速側に戻す
 9. チョークバルブを始動位置に戻す
 10. 無負荷状態で1-2分間暖機運転を行う

推奨事項

納入後1週間(約40-50時間)は慣らし運転期間とし、過負荷を避けてください。



警告

- 運転中は周囲の人に近づかないでください
- 安全な速度を保つため、周囲の安全、路面 / 斜面の状況を確認してから運転してください
- 急発進、急加速、急旋回は、滑りや転倒の原因となるため禁止です
- 斜面では副変速レバーを LOW 位置にして低速で前進してください。守らない場合、作業者の負傷や機械の滑り、転倒の原因となります
- 道路の横断は滑りや転倒の原因となるため禁止です
- 斜面での旋回は、機械の後退、滑り、転倒の原因となるため禁止です
- 視界不良、狭路、斜面、起伏のある道路では、合図に従い、安全確認後に再発進してください
- 運転中はメインスイッチを OFF 位置にしないでください

4.3 運転方法

1. 機械の周囲の安全を確認する
2. クラッチが停止位置にあることを確認する
3. ギアレバーと副変速レバーをニュートラル位置にする
4. アクセルレバーをHIGH位置に回し、エンジン回転数を上げる
5. クラッチを始動位置に入れて発進する
6. 左折時は左クラッチハンドルを操作する
7. 右折時は右クラッチハンドルを操作する

【推奨事項】

各ギアレバー位置での走行速度については、技術データをご参照ください。
ギアレバーが動かない場合は、クラッチを走行側に少し動かしてから再度操作してください。

4.4 変速方法



警告

- 変速時は必ず機械を停止してください。
- 正しい方法で変速を行ってください。誤った操作はエンストの原因となります。

1. 機械が停止していることを確認し、過積載時や斜面での変速は禁止です
2. ギアレバーと副変速レバーを適切な位置に入れる

【推奨事項】

各走行位置に対応する速度位置については、技術データをご参照ください。ギアレバーが動かない場合は、クラッチを走行側に少し動かしてから再度操作してください。

4.5 駐車方法



警告

- 急停止は機械の転倒の原因となるため禁止です。
- 平坦で危険のない場所に停車してください。
- 斜面での駐車は禁止です。やむを得ない場合は車輪を固定してください。

1. アクセルレバーを LOW 側に回し、減速する。
2. クラッチレバーを PARKING の位置に回し、機械を停止する。
3. ギアレバーを N の位置にする。
4. メインスイッチを OFF の位置にしてエンジンを停止する。
5. 燃料コックを OFF の位置にする。

【推奨事項】

エンジンを低速で長時間運転すると、スパークプラグにカーボン(煤)が付着しやすくなります。
長時間低速運転後は、高速で運転してカーボンを除去してください。

5. 保守と修理

注意

- 適切な時期に保守を行わないことは事故の主な原因となります。
- 機械を良好な状態に保つため、適切な時期に点検・保守を行ってください。

補給・交換リスト

項目	補給・交換時期	推奨製品	容量
燃料	随時	自動車用無鉛 ガソリン	3.6L
エンジンオイル	初回:20時間 以降:100時間ごと	SAE10W-30	0.6L
ギアボックス オイル	初回:50時間 以降:500時間ごと	GL-4	1.5L

5.1 点検リスト

			点検周期		
			作業時	月	日
走行装置	ベルト	明らかな欠陥がないか	○	○	○
		弛みと張りが適切か	○	○	○
		テンションナットの変形、腐食がないか	○	○	○
	ギアボックス	走行時、ギア機構の異音、異常な発熱がないか	○	○	○
		オイル漏れがないか		○	○
	Vベルト	摩耗していないか		○	○
		ベルトの長さが基準値内か		○	○
	牽引クラッチ	アイドリング時に異音がないか		○	○
		クラッチ後、滑りがなくスムーズに動作するか		○	○
	ブレーキ	ブレーキ装置が正常か	○	○	○
		駐車時、25度の傾斜で停止状態を保持できるか		○	○
	操向クラッチ	使用時に異音がないか	○	○	○
		操作レバーの遊びが適切な位置にあるか	○	○	○
		ブルに損傷がなく、接続が強固か、各部にサビがないか		○	○

走行装置	クローラー	変形や摩耗がないか	○	○	○
		シャフトの状態が正常か	○	○	○
		取付ボルト、ナットの緩み、脱落がないか	○	○	○
		シャフト周りの漏れがないか		○	○
	連結ロッド	変形や摩耗がないか		○	○
		接続部の緩みがないか、割りピンに不具合がないか		○	○
メインフレーム 本体 ラベル	メインフレームと本体	ひび割れや変形がないか		○	○
		取付ボルト、ナットの緩み、脱落がないか		○	○
	荷台エリア	ローリングシステムが正常に作動するか		○	○
		ゲートシステムに異常がないか		○	○
		表示ラベルの汚れや損傷がないか		○	○



警告

- ・ 保守や修理を行う際は必ずエンジンを停止してください

5.2 走行装置

エンジン停止後はエンジン各部が高温になっています。やけどを防ぐため、エンジンが完全に冷えてから保守を行ってください。

5.3 クローラーの点検と調整

注意

- ベルトは適切な張力範囲で使用してください。脱落や危険を防ぐため必要です。

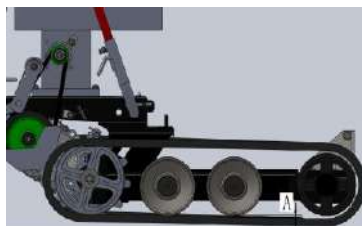


警告

- 調整時はジャッキが落下しないよう固定してください。

5.3.1 点検

1. 機械を持ち上げ、地面と同じ高さを保ちます。
2. クローラーと転輪の間に20mmのすき間があることを確認します。不適切な場合は調整してください。
3. 機械を下ろします。



5.3.2 調整

1. 機械を持ち上げ、地面と同じ高さにします。
2. ナットを緩めます。
3. ボルトを調整し、クローラーと転輪の間に20mmのすき間があることを確認します。
4. ナットを締めます。
5. 機械を下ろします。



5.4 V ベルトの点検と調整

注意

- ベルトは適切な張力範囲で使用してください。脱落や危険を防ぐため必要です。

5.4.1 点検

1. プラスチックカバーを外します
2. V ベルトを点検し、損傷がある場合は販売店に連絡してください
3. プラスチックカバーを取り付けます

5.4.2 調整

【1】

1. クラッチを駐車位置に前方に回します。
2. ナットを緩めます。
3. V ベルトのスリップがある場合は、クラッチレバーを走行位置に調整し、調整ねじナットのスプリングの伸び幅を 3-4mm の範囲にします。

【2】

1. ベルトが完全に分離していない場合は、V ベルトの調整で張力位置を調整します。ベルト車カバーのボルトを外し、ベルトテンショナーを駐車位置で V ベルトに接触しないようにし、[走行] 位置で回転しないようにします。その後ボルトを締めます。
2. ナットを締めます。

5.5 ブレーキ装置の点検と調整



警告

- ・ブレーキ装置に問題がある場合は、運転調整を行ってください。

5.5.1 点検

1. プラスチックカバーを外します
2. 走行クラッチロッドを機械停止位置にします。
3. スプリングの長さAが185-190mmの間にあることを確認します。不適切な場合は調整してください。
4. プラスチックカバーを取り付けます。



5.5.2 調整

1. プラスチックカバーを外します。
2. ナットを緩めます。
3. クラッチロッドを機械停止位置にします。
4. ナット1を調整し、スプリングの長さAが185-190mmになるようにします。
5. ナット1を締めます。
6. ナット2を緩めます。
7. 走行クラッチロッドを走行位置にし、調整ナット2でブレーキ状態を解除します。
8. ナット2を締めます。
9. プラスチックカバーを取り付けます。



5.6 操向クラッチの調整

1. 荷台を取り外し、サポートフレームで固定します。
2. 調整ナットを調整し、操向クラッチハンドルに1-5mmの遊びを持たせます。
3. 荷台を戻します。



6. トラブルシューティング

注意

- 機械に問題がある場合は、使用を中止し適切な処置を行ってください

6.1 走行装置

1. 走行クラッチロッドを走行位置にしても機械が始動しない。
2. 変速ギアが適切な位置にあるか確認します。
3. V ベルトが緩すぎる場合は、V ベルトを調整します。
4. ブレーキがロックしている場合は、最適な位置に調整します。

6.2 ブレーキ装置の不具合

1. ブレーキ調整が不適切な場合は、最適な位置に調整します。
2. ブレーキ装置に水が入っている場合は、数回ブレーキをかけて乾かします。
3. 過負荷の場合は、積載量を減らします。

6.3 クローラーの脱落

1. クローラーの破損を確認します。
2. クローラーテンションプーリーを調整します。

6.4 操向装置の不具合

1. ハンドルバーの状態を確認します。
2. ハンドルケーブルの破損を確認します。
3. 操向分離アームとケーブル接続の状態を確認します。

7. 技術データ

名称・型式			WN7B(7B-320B)	
			Kg	156
定格積載容量			Kg	320
寸法	全長		mm	1620
	全幅		mm	600
	全高		mm	830
	接地クローラー長		mm	650
	クローラー中心間距離		mm	410
	荷台底板高さ		mm	295
荷台	荷台内寸	長さ	mm	850
		幅	mm	570
		高さ	mm	290
	ダンブ方式			
	ダンブ角度			60
エンジン	エンジン名			WM168F/P
	型式		単気筒OHVガソリンエンジン	
	総排気量		ml	196
	定格出力		KW/rpm	3.6/360
	エンジン重量		Kg	18
	始動方式		リコイルスタート	
	燃料			ガソリン
	最低燃料消費率		g/kWh	395
	燃料タンク容量		L	3.6
	オイル容量		L	0.6

	オイル容量		トランジスタマグネット式点火	
	スパークプラグ型式		F7(R)TC	
走行性能	走行速度	前進1速	Km/h	0.5
		前進2速	Km/h	0.8
		前進3速	Km/h	1.3
		前進4速	Km/h	
		前進5速	Km/h	3.0
		前進6速	Km/h	4.9
		後進1速	Km/h	0.6
		後進2速	Km/h	2.3
	最小旋回半径		m	1.15
	登坂能力		斜度	25
ブレーキ方式				ハブブレーキ
潤滑油規格				GL-4
ミッションオイル容量			L	1.5

保証書

株式会社 唐沢農機サービス ノウキナビ事業部

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品には、お買い上げ日より1年間の保証期間が設けられております。保証期間中、取扱説明書に従った正常な使用により、製造上の欠陥による故障が発生した場合は、無償で修理いたします。

本保証サービスは、本製品についてのみ無償修理、代替品の納入、部品交換を行うサービスです。本製品の故障等又は使用によるその他の製品の損害については、保証の範囲外と致します。その他、本製品の破損・故障を原因とする間接損害、拡大損害、特別損害(休業補償、営業損失等を含みますが、これらに限られません)についても、当社の保証範囲外とさせていただきます。

保証を受けるには、以下のいずれが必要となります。

本保証書とお買い上げ日を証明できるもの（レシート、領収書、納品書、注文履歴画面の印刷など）

保証の対象外となる事例：

以下の場合、保証期間内であっても保証対象外となり有償修理となる場合がございます。

- ・ お客様の誤った使用または不注意による故障や破損
- ・ お客様自身で改造・修理された場合
- ・ 火災、地震、水害などの天災地変による故障や破損
- ・ 消耗品の自然摩耗や経年劣化
- ・ お買い上げ後の輸送、落下、衝撃などによる故障や破損
- ・ 機能上影響のない変形、破損、故障
- ・ 通常の注意により発見できたにも拘らず、放置されたことにより拡大した変形や損耗
- ・ 適切なメンテナンスを欠いたことによる故障や破損
- ・ 上記の購入証明が提示できない場合
- ・ 本保証書にお買い上げ日、販売店名、製品シリアル番号の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- ・ 輸入時におけるこすれ傷、汚れ等

保証サービスのお問い合わせ：

株式会社 唐沢農機サービス ノウキナビ事業部

〒389-0518 長野県東御市本海野 1642

TEL: 050-5799-8574(平日 9:00-17:00)

FAX: 0268-63-7085

E-MAIL: info@noukinavi.com

保証書

記入欄

- 販売店名:
- お買い上げ日:
- 製品名:
- 製品型式:
- 製品シリアル番号:

備考

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品によっては、保証内容が異なる場合があります。詳しくは、各製品に付属の取扱説明書をご確認ください。
- 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品、本保証書およびレシート等を弊社へお持ち込みください。
- 本製品を配送される場合、発送時、返送時の費用はお客様のご負担とさせていただきます。
- 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

発売元 株式会社 唐沢農機サービス ノウキナビ事業部

〒389-0518 長野県東御市本海野 1642

TEL: 050-5799-8574(平日 9:00-17:00)

FAX: 0268-63-7085

E-MAIL: info@noukinavi.com